

1.6 表組み

入力と見た目が全く異なるので、出来上りのイメージを想像しながら入力していきます。
以下の点に注意をしてください。

- 表の要素ごとに&マーク（列の区切りの役割）を入れる
- 最後に\\(改行マーク)を入れる

例題 5

(入力)

```
%test5.tex
```

```
\documentclass{jarticle}
```

```
\begin{document}
```

```
職員名簿
```

```
\begin{tabular}{lll} ← {lll}で要素数を指定。lは左揃え (left) の意味。
```

```
池端雪浦&フィリピン近・現代史\\
```

```
中嶋幹起&東アジアの諸言語\\
```

```
石井 博&南アジアの人類学\\
```

```
中野暁雄&アフロ・アジアの諸言語及びその民俗誌\\
```

```
小川 了&国際化とインフォーマルエコノミー (アフリカ) \\
```

```
中見立夫&内陸・東アジアの国際関係史\\
```

```
加賀谷良平&音響音声学、アフリカ諸言語\\
```

```
松下周二&アフリカの言語\\
```

```
梶 茂樹&バンツー諸語、言語人類学\\
```

```
水島 司&南インド近・現代史\\
```

```
\end{tabular}
```

```
\end{document}
```

要素の数は、`{tabular}`の後ろの`{lll}`で指定します。要素が3つの場合は、`{lll}`、4つなら`{llll}`です。また、表内での揃えは、左揃えは`l`、右揃えは`r`、中央揃えは`c`で指定します。

表の縦線は、要素定義のところで、`{|r|r|}`のように`|`（縦棒）を入れて指定し、横線は`\hline`で指定します。詳しくは、第2.3.1節（19ページ）を参照のこと。

(出力)

職員名簿

池端雪浦	フィリピン近・現代史
中嶋幹起	東アジアの諸言語
石井 溥	南アジアの人類学
中野暁雄	アフロ・アジアの諸言語及びその民俗誌
小川 了	国際化とインフォーマルエコノミー (アフリカ)
中見立夫	内陸・東アジアの国際関係史
加賀谷良平	音響音声学、アフリカ諸言語
松下周二	アフリカの言語
梶 茂樹	バンツー諸語、言語人類学
水島 司	南インド近・現代史